

愛知県国際農友会だより

●平成 19 年度の活動を振り返って

●平成 19 年度の主な活動

●夢は大きく世界へ

(平成 16、17 年度海外派遣農業研修生報告)

■発行日 平成 20 年 3 月 31 日

■発行人 愛知県国際農友会

〒460-8501 名古屋市中区三の丸 3-1-2

電話 052-954-6412

平成 19 年度の活動を振り返って

～愛知県国際農友会活動について！～

会 長 横山 賢一（尾張東）



平成 19 年度の農友会活動も、会員の皆様の御協力のもと滞りなく活動できましたことにお礼申し上げます。

国際農業者フォーラムを、平成 18、19 年は（財）愛知県農業振興基金との共催で行いましたが、農友会の自主性が出ない面もあり、少し見直した方がよいのではないかと思います。

一方、我々の上部団体である国際農業者交流協会では、ここ数年、海外農業研修生の減少という問題に直面し、対策に苦慮しています。平成元年には 174 名派遣していましたが、平成 19 年には 61 名に激減しています。このことは協会事業の存続に関わる大変重要なことですので、会員の皆様には、それぞれの地域で 1 人でも多くの海外派遣研修生の確保に御尽力いただくよう、よろしくお願いします。

最後になりましたが、3 期 6 年間、会員の皆様の御協力のもと会長を務めさせていただきました。厚くお礼申しあげます。

～夏期経営研究会～

理 事 伊藤 正弘（安城）

安城のデンパークにて、お盆前のお忙しい時期に重なったにもかかわらず多くの方々に御参加いただき、ありがとうございます。

担当を 2 年目ということもあり、昨年とは企画を変えてバーベキューとソーセージ作り体験を行いました。女性や子供さんには最初から好評でしたが、当初は「ソーセージ作り？」と想像いただろう大半の男性陣が、作業を始めると喜々として楽しんでいる様子を見てほっとしました。また、茹で上がった手作りソーセージの試食では、皆さんの感想も好評で安心しました。

バーベキューの後にソーセージ作りを行ったため、お酒の勢いもあってか節度のない会話もあったようです。不快な思いをされた方には、企画の不幸際ということで、担当者として深くお詫び申し上げます。

～試験委員になってみて～

理 事 服部 道尚（豊橋）

私が農友会の理事になり、早いもので 2 年が過ぎようとしています。理事になって、理事会やいろいろな行事に参加しました。その中で、私にとって一番印象的な行事は、「海外派遣農業研修生選考会」で試験委員になったことです。理事会で試験委員を決める時に、「若い人がやりなさい！」ということで選ばれました。

10 年前は受ける側だった私が、選ぶ側になったのです。時間が近づくにつれ、責任の大きさを痛感しました。選考会の参加者は学生が多く、結構緊張しているようでした。個人面接をしてみると、皆、真面目で志の高さを感じました。当時の私よりも・・・。

選考会に出席して、若い志望者に研修を頑張ってもらいたいと思ったのと、昔を思い出して懐かしかったり、これからも頑張ろうと思ったりでした。

平成19年度の主な活動

■ タイ国農業研修生の受け入れ

(社)国際農業者交流協会が実施している「アジア農業青年人材育成事業」により、本会はアセアン諸国等の海外農業研修生を受け入れています。本年度は本県にタイ王国から7名の青年が訪れ、4月20日から2月18日まで農家研修を行いました。本会では、6月8日に海外農業研修生歓迎会を開催したほか、7月28日に開催した夏期経営研究会や11月26日の国際農業者フォーラムにも招き、会員との交流を深めました。

海外農業研修生と受入会員一覧

研修生氏名	受入会員（支部名）
チャイワット クナラック	小山正徳（豊橋）
ナックボーン ペッサング	横山賢一（尾張東）
イツティポン ティーワン	内藤完次（西尾幡豆）
パイラット トンサワット	原 宜延（海部）
プラチャ プーコーン	平田正樹（西尾幡豆）
アピチャート トゥーペー	永井隆寛（田原）
ラッタデー メーターアソクン	宮地勝利（西尾幡豆）



海外農業研修生歓迎会（H19.6.8）



交流協会の巡回訪問（H19.6.26～28）

■ 海外派遣研修生の帰国報告会

平成17年度海外派遣研修生のうち1年コースの3名が3月に無事帰国し、6月8日に帰国報告会を行いました。平成16年度海外派遣研修生のうちアメリカ

海外派遣研修生帰国者一覧

帰国者氏名	派遣先（年数）
寺島 啓太	アメリカ（1年）
山田 貴史	スイス（1年）
鈴木 隆玄	オランダ（1年）
太田 一臣	アメリカ（2年）
奥田 輔	アメリカ（2年）
佐藤 青空	アメリカ（2年）



研修状況を説明する山田貴史さん

2年コースの3名は6月の帰国となったため、7月28日の夏期経営研究会に招待し、その中で帰国報告をしていただきました。

それぞれ、楽しかった思い出、頑張ったこと、日々の生活などを語っていただきました。

みなさん、一回りも二回りも成長されました。これからの御活躍を期待します。

■ 平成 18 年度海外派遣農業研修生激励会

平成 18 年度は本県から 7 名がアメリカ、オランダに派遣されることになり、激励会を 6 月 8 日に行いました。オランダプラクティカルコースの金田将始さんは 3 月に出発したため、6 月 25 日にアメリカ



決意を語る月山聖子さん（中央）

平成 18 年度海外派遣農業研修生一覧

氏 名	派遣コース（業種）
月山 聖子	アメリカコンビネーション（養鶏）
中村 優希	アメリカコンビネーション（鉢物）
榊原 基嗣	アメリカコンビネーション（切花）
浅井 亮太	アメリカコンビネーション（落葉果樹）
金田 将始	オランダプラクティカル（切花）
※森田 大作	アメリカコンビネーション（野菜）
※天野 真光	アメリカコンビネーション（切花バラ）

※は一般応募により派遣

に向けて出発される皆さんをお招きし、月山聖子さん、中村優希さん、榊原基嗣さんの 3 名が出席されました。それぞれ、海外派遣研修に対する熱い思いを述べられました。

■ 海外派遣農業研修生の推薦

本会では、(社)国際農業者交流協会が実施している「農業研修生海外派遣事業」に対し、県内の研修希望者を推薦しています。

7 月 3 日に愛知県立農業大学校において事業説明会を開催し、研修体験を米津実花さん（ハワイ 1 年）、山田貴史さん（スイス 1 年）、奥田 輔さん（アメリカ 2 年）に語っていただきました。

8 月 10 日には推薦者選考会を実施し、海部支部の山口義博理事、豊橋支部の服部道尚理事が選考委員を務めました。

平成 19 年度は、受験者 4 名すべてが海外派遣農業研修生として適格であったため、4 名の青年を推薦しました。交流協会の選考にも全員合格し、アメリカコンビネーションコースで派遣されることになりました。



農業研修生海外派遣事業説明会

平成 19 年度海外派遣農業研修予定者

氏 名	派遣コース（業種）
花井 隆人	アメリカコンビネーション（野菜）
中西 勇人	アメリカコンビネーション（落葉果樹）
染川 大輔	アメリカコンビネーション（野菜）
跡治 伴則	アメリカコンビネーション（畑作）



海外派遣農業研修生推薦者選考会

■ 夏期経営研修会の開催

平成 19 年度の夏期経営研修会は、本会安城支部の協力により、7 月 28 日（土）に昨年と同じ安城産業文化公園デンパークで開催しました。会員とその家族、平成 16 年度海外派遣研修生の帰国者、タイ農業研修生など 70 名余りが集い、デンパーク施設の見学、ソーセージ加工体験を行ったほか、昼食のバーベキューを兼ねた意見交換会ではビンゴゲームが行われ、会員が持ち寄った農産物が商品として配布されました。

ソーセージ加工体験は、ふだんと勝手が違うのか会員のみなさんは苦勞していましたが、手作りソーセージを大切に持ち帰られました。御自宅でもソーセージ談義で盛り上がったことでしょう。

■ 国際農業者フォーラムの開催

本年度も、(財)愛知県農業振興基金の「あいちアグリアワード表彰式及び記念講演会」に合わせて、11 月 26 日（月）に開催しました。

講演会の講師は食環境ジャーナリストの金丸弘美氏で、「地産地消とアグリビジネス」と題して、全国の地産地消の事例を紹介しながら、固定概念にとらわれない農業経営、農産物の販売について、熱心に説かれました。



地産地消を語る金丸弘美氏



澤中農業経営課長様からの励ましのおことば

講演会後の交流会は、愛知県農林水産部農業経営課長の澤中和雄様にも御出席いただき、青年期に果敢に海外派遣農業研修に挑戦した私たち会員に対する敬意のおことばをいただきました。

また、平成 19 年度海外派遣農業研修予定者激励会、タイ農業研修生の来日半年後の感想報告なども実施しました。

■ 平成 19 年度海外派遣農業研修予定者激励会

国際農業者フォーラムにおいて平成 19 年度海外派遣農業研修予定者激励会を実施しました。平成 19 年度派遣予定者 4 名（「海外派遣農業研修生の推薦」を参照）のうち音羽町の跡治伴則さんが代表して海外派遣研修に向けた決意と熱い思いを語られました。将来は海外青年協力隊に参加したいとのことでした。

平成 19 年度海外派遣農業研修予定者は 4 名ともアメリカコンビネーションコースに参加され、平成 20 年 6 月から平成 21 年 12 月までの約 18 ヶ月間アメリカで研修を受けられます。健康で事故のないようにお願いします。



決意を語る跡治伴則さん